

2020年8月7日（金）

ボーイスカウト半田地区代表者に西仮組で伐採した樹木を寄贈しました。

今回、樹木を寄贈する経緯に至ったのは、JR 武豊線が高架となる事業計画で本社工場における西仮組の樹木が整備区域になり西仮組に生育する当社のレガシーともいえる森を手放すことに際し、樹木の再利用を検討したところから始まりました。

樹木贈呈に際して社長は

「当社のレガシーともいえる西仮組の森を失うことになりました。公共の福祉に資するため渋々森の伐採に承諾しましたが、森を失うのは断腸の思いでした。地域貢献できないか、SDGs で何かできないか検討していたところ、ひょんなところから社会貢献が出来るチャンスを受け取りありがとうございました。」

ボーイスカウト半田地区代表者は

「今回このような機会をいただき有難うございます。」

「ボーイスカウト日本連盟は皇太子殿下を長に活動をしており、各都道府県知事を筆頭に全区に分かれています。その中でもボーイスカウト愛知連盟知多東地区は全部で9団のボーイスカウトがあり、今回頂いた樹木はこの半田地区で利用させていただきます。利用方法は各団で検討し使用しますが、丸太の櫓を建てたこともあります。

製材された樹木についてはキャンプ場で飯盒炊爨の薪として使用させていただきます。近年、キャンプ地 里山が減ってきて、子供が走り回れるところが少なくなっていますが、当半田地区は半田インター付近に専属のキャンプ場があり 1500 坪の敷地を有しています。新型コロナウイルスの影響も考えなくても良い環境で子供たちは活動しています。」

